

# 2024年度未就業調査集計結果

目的： 長野県ナースセンターに登録している看護職および各種相談事業参加者などの就業実態を把握し、看護職の再就職と就業の継続を促進する

対象： eナースセンターの求職登録者のうち長野県内への就業を希望し、就職活動を行っている者（2021年4月1日から2024年3月31日登録者 323名）及び福祉の職場説明会・看護職のための福祉の職場相談会・巡回相談・週イチ相談等の参加者でeナース登録のない者（51名）計374名

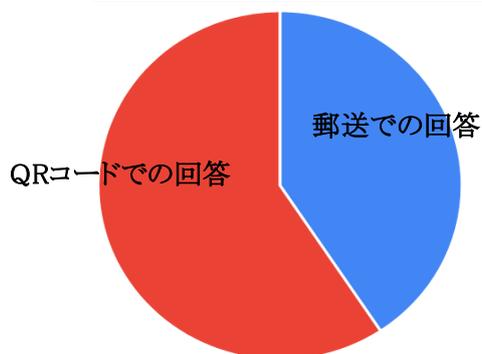
期間： 2024年8月1日から2024年9月30日

方法： 対象者に自記式質問調査票を郵送配付、郵送による回答とQRコードによる回答を集計した

## 1.回収状況

374名に郵送したが宛先不明等により連絡つかず363名を対象とした。

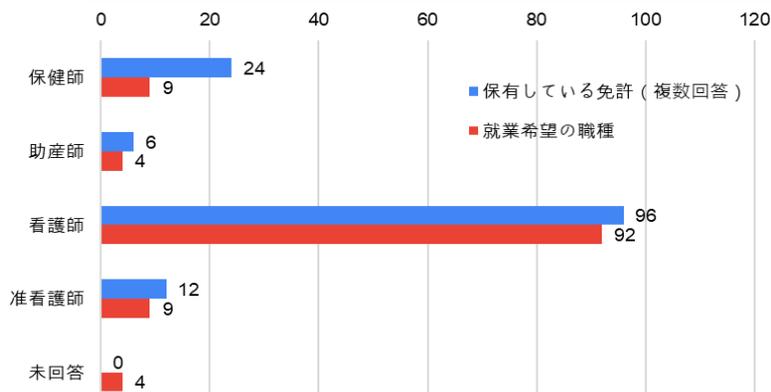
		2022年度		2023年度		2024年度	
対象者数	回収率	331	25.7%	381	23.6%	363	32.5%
郵送での回答		41	48.2%	52	57.8%	48	40.7%
QRコードでの回答		44	51.8%	38	42.2%	70	59.3%
回答数合計		85	100.0%	90	100.0%	118	100.0%



2022年度の回収率は、対象者331名で85名（25.7%）であった。2023年度の回収率は、対象者381名で90名（23.6%）であった。2024年度の回収率は、対象者363名で118名（32.5%）であった。回答方法については、QRコードでの回答がやや多い傾向がみられた。

## 2.保有している免許（複数回答）と就業を希望している職種

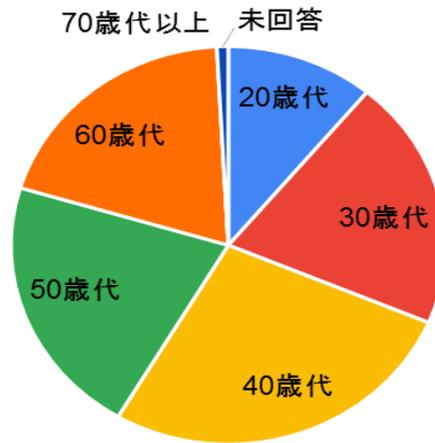
	保有している免許（複数回答）	就業希望の職種
保健師	24	9
助産師	6	4
看護師	96	92
准看護師	12	9
未回答	0	4
合計	138	118



保健師免許を取得している看護職は24名いたが、保健師としての就労希望は9名であった。助産師免許を取得している看護職は6名で、4名が助産師としての就労希望であった。看護師免許のみの取得者は、ほぼ看護師での就労を希望していた。准看護師については、看護師免許取得者は看護師での就労を希望していた。9名は准看護師免許のみの資格取得者であった。保健師と看護師の免許のある方と看護師の免許のある方各2名は就業希望職種は未記載であった。

### 3.年齢

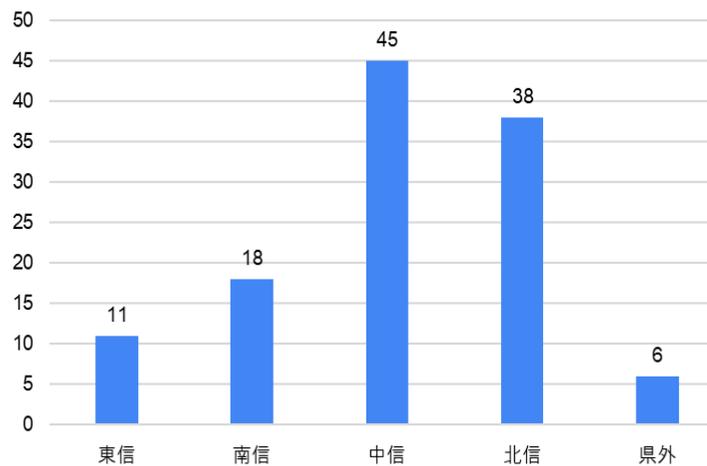
	人数	割合
20歳代	13	11.0%
30歳代	24	20.3%
40歳代	32	27.1%
50歳代	25	21.2%
60歳代	23	19.5%
70歳代以上	0	0.0%
未回答	1	0.8%
合計	118	100.0%
平均年齢		46.2
標準偏差		12.6



年齢は、24歳から68歳までで、平均年齢は46.2±12.6歳であった。30歳代・40歳代・50歳代・60歳代が各約20%以上を占めていた。

### 4.所在地

地区	人数	割合
東信	11	9.3%
南信	18	15.3%
中信	45	38.1%
北信	38	32.2%
県外	6	5.1%
合計	118	100%



所在地で最も多かったのは中信地区で45名(38.1%)であった。次いで北信地区38名(32.2%)であった。

### 5.現在の就業状況

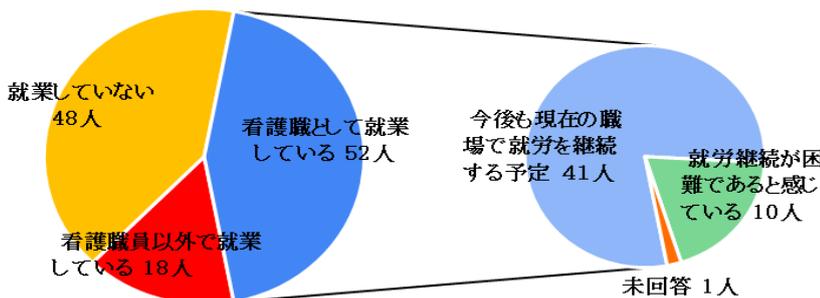
	人数	割合
看護職員として就業している	52	44.1%
看護職員以外で就業している	18	15.3%
就業していない	48	40.7%
未回答	0	0.0%
合計	118	100.0%

現在の就業状況は、看護職として就業している方は、52名(44.1%)で、就業していない方が48名(40.7%)と就業中の方が多い結果となった。看護職以外で就業中の方は18名(15.3%)で、就業していないと合わせると、看護職で就業していない方は66名(55.9%)であった。

#### 5.-1看護職として就業中の方の就業継続の意向について(n=52)

	人数	割合
今後も現在の職場で就労を継続する予定	41	78.8%
就労継続が困難であると感じている	10	19.2%
未回答	1	1.9%

現在就業中の52名のうち、今後も現在の職場で就労を継続する予定であると回答した方が41名(78.8%)で約8割の方が現在の職場での継続を考えていた。就労継続が困難と感じている方は10名(19.2%)、未回答が1名(1.9%)であった。



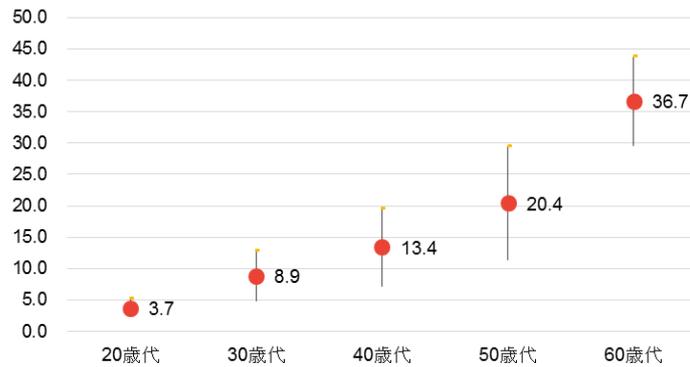
## 6.看護職としての経験年数

	平均勤務年数	標準偏差
20歳代	3.7	1.5
30歳代	8.9	4.0
40歳代	13.4	6.2
50歳代	20.4	9.0
60歳代	36.7	7.1
合計	17.6	12.6

未回答者:1名

年齢を重ねるにつれ経験年数は長くなっている。

全体の平均経験年数は、17.6年で標準偏差は12.6であった。標準偏差は、20歳代が最も少なく、50歳代が最も多い結果となった。

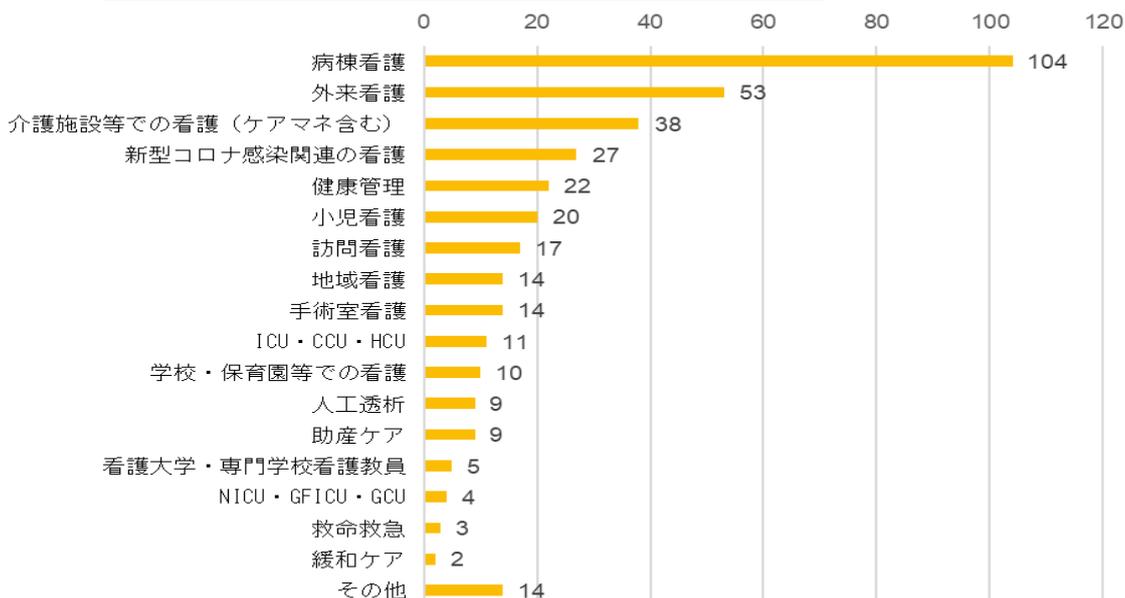


## 7.看護職として経験した看護領域(複数回答 n=118)

経験した看護領域	人数	割合
病棟看護	104	88.1%
外来看護	53	44.9%
介護施設等での看護(ケアマネ含む)	38	32.2%
新型コロナウイルス関連の看護	27	22.9%
健康管理	22	18.6%
小児看護	20	16.9%
訪問看護	17	14.4%
地域看護	14	11.9%
手術室看護	14	11.9%
ICU・CCU・HCU	11	9.3%
学校・保育園等での看護	10	8.5%
人工透析	9	7.6%
助産ケア	9	7.6%
看護大学・専門学校看護教員	5	4.2%
NICU・GFICU・GCU	4	3.4%
救命救急	3	2.5%
緩和ケア	2	1.7%
その他	14	11.9%

最も経験の多い領域は、病棟看護で104名(88.1%)が経験しており、次いで外来看護53名(44.9%)、介護施設での看護(ケアマネ含む)が38名(32.2%)であった。新型コロナウイルス関連の看護は、この4年間で新たな領域であったが、27名(22.9%)が経験しており4番目に多かった。次いで健康管理22名(18.6%)となった。昨年の上位5領域順番に変化はなかった

その他: 訪問診療同行・一般企業  
児童相談所・訪問入浴  
放課後デイ・地域連携  
障害福祉施設サービス:4名  
産業看護・行政:各2名



8.現在の就業先または最後に就業していた施設(n=118)

施設	人数	割合
病院	33	28.0%
診療所(クリニック)	12	10.2%
その他の介護施設・福祉施設	8	6.8%
通所介護	7	5.9%
特別養護老人ホーム	7	5.9%
行政(市町村等)	6	5.1%
訪問看護ステーション	6	5.1%
コロナ感染関連の支援	5	4.2%
健診センター	5	4.2%
学校	3	2.5%
企業・事業所	3	2.5%
保育施設	3	2.5%
障がい者施設	2	1.7%
ケアハウス	1	0.8%
介護老人保健施設	1	0.8%
看護系教育機関	1	0.8%
児童相談所	1	0.8%
小規模多機能型居宅介護	1	0.8%
放課後デイ	1	0.8%
未回答	12	10.2%
合計	118	100.0%

現在の就業先または最後に就業していた施設については、病院が最も多く33名(28.0%)であった。次いで診療所(クリニック)12名(10.2%)、3番目はその他の介護施設・福祉施設8名(6.8%)、コロナ感染関連の支援は、昨年3番目であったが、減少した。その他の介護施設・福祉施設と特別養護老人ホーム、ケアハウス、介護老人保健施設、通所介護、小規模多機能型居宅介護など介護・施設系への就業者は、26名(22.0%)と病院に次いで多い状況であった。回答のあった施設数は、昨年と同様19施設の回答があった。経年的変化については、最も多い回答数である病院は減少傾向を示しており、診療所(クリニック)、介護福祉系施設は横ばいであり、病院以外での就業先が増加してきている。



◎以下の調査結果は、現在就業中で今後も同施設にて引き続き就業を継続していこうと考えている41名を除く77名より、その後の調査に回答のなかった3名を除く74名を対象とした。

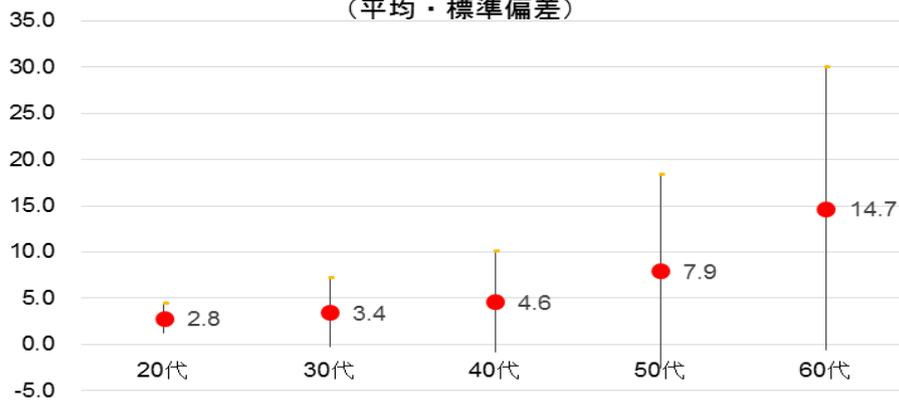
9.最終の就業施設の年代別勤務経験年数(n=74)

	平均勤務年数	標準偏差
20代	2.8	1.6
30代	3.4	3.7
40代	4.6	5.4
50代	7.9	10.4
60代	14.7	15.3
合計	6.2	8.9

最終の就業場所での看護経験年数は、年代が上昇するほどばらつき幅がかなり大きい結果となった。短い方は1ヶ月、最長30年以上までの開きがあった。最もばらつき幅が大きいのは60歳代であり、定年退職後の働き方を検討している方が多いことが推察される。グラフは次ページに記載

## 最終の就業施設での年代別勤務経験年数

(平均・標準偏差)

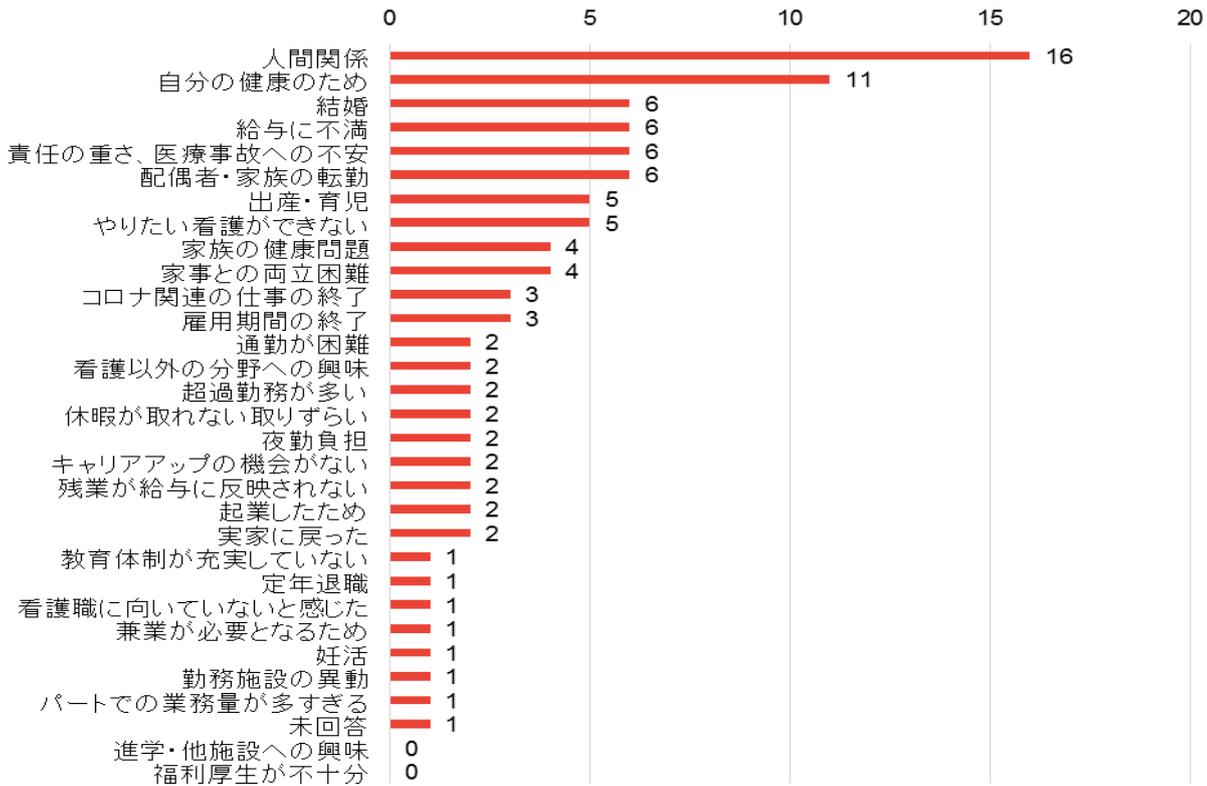


### 10.最後に就業していた施設の退職・転職を考えた理由(複数回答 n=74)

理由	人数	割合
人間関係	16	21.6%
自分の健康のため	11	14.9%
結婚	6	8.1%
給与に不満	6	8.1%
責任の重さ、医療事故への不安	6	8.1%
配偶者・家族の転勤	6	8.1%
出産・育児	5	6.8%
やりたい看護ができない	5	6.8%
家族の健康問題	4	5.4%
家事との両立困難	4	5.4%
コロナ関連の仕事の終了	3	4.1%
雇用期間の終了	3	4.1%
通勤が困難	2	2.7%
看護以外の分野への興味	2	2.7%
超過勤務が多い	2	2.7%
休暇が取れない取りづらい	2	2.7%
夜勤負担	2	2.7%
キャリアアップの機会がない	2	2.7%
残業が給与に反映されない	2	2.7%
起業したため	2	2.7%
実家に戻った	2	2.7%
教育体制が充実していない	1	1.4%
定年退職	1	1.4%
看護職に向いていないと感じた	1	1.4%
兼業が必要となるため	1	1.4%
妊活	1	1.4%
勤務施設の異動	1	1.4%
パートでの業務量が多すぎる	1	1.4%
未回答	1	1.4%
進学・他施設への興味	0	0.0%
福利厚生が不十分	0	0.0%

退職や転職を考える理由で最も多かったのは、人間関係の16名(21.6%)で、次に自分の健康問題が11名(14.9%)であった。この2つの理由は増加傾向を示している。また、退職・転職を考える理由は多岐にわたっていた。グラフは次ページに表示

## 退職・転職を考えた理由

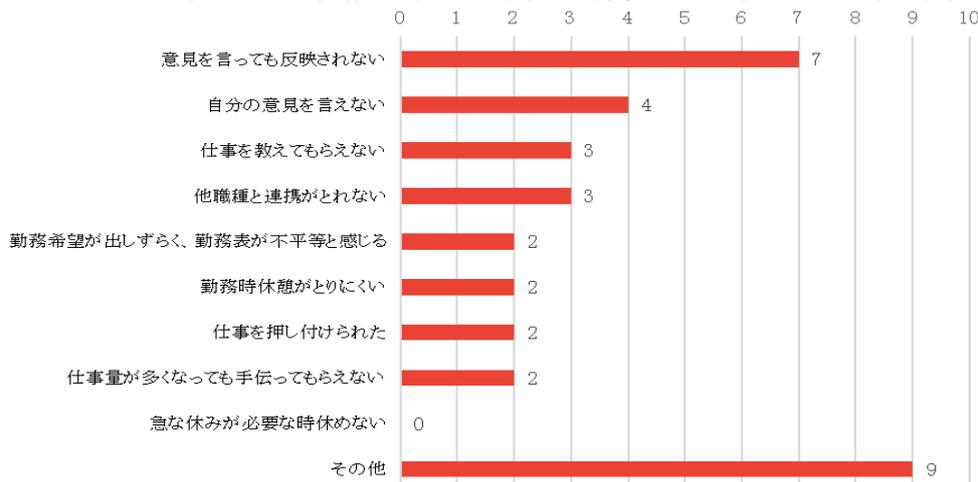


### 11. 前質問で人間関係と回答した内容 (複数回答 n=16)

内容	人数	割合
意見を言っても反映されない	7	43.8%
自分の意見を言えない	4	25.0%
仕事を教えてもらえない	3	18.8%
他職種と連携がとれない	3	18.8%
勤務希望が出しずらく、勤務表が不平等と感じる	2	12.5%
勤務時休憩がとりにくい	2	12.5%
仕事を押し付けられた	2	12.5%
仕事量が多くなっても手伝ってもらえない	2	12.5%
急な休みが必要な時休めない	0	0.0%
その他	9	56.3%

人間関係の具体的な内容については、意見を言っても反映されないが最も多く、次いで自分の意見が言えない、仕事を教えてもらえない、他職種と連携がとれないと続き、様々な理由があった。

その他： いじめ 4人(25.0%) ・ パワハラ 3人(18.8%)  
 パートばかりで正職の負担が多い 1人(6.3%)  
 考え方が違う(利用者への態度など)攻撃的な言動 1人(6.3%)

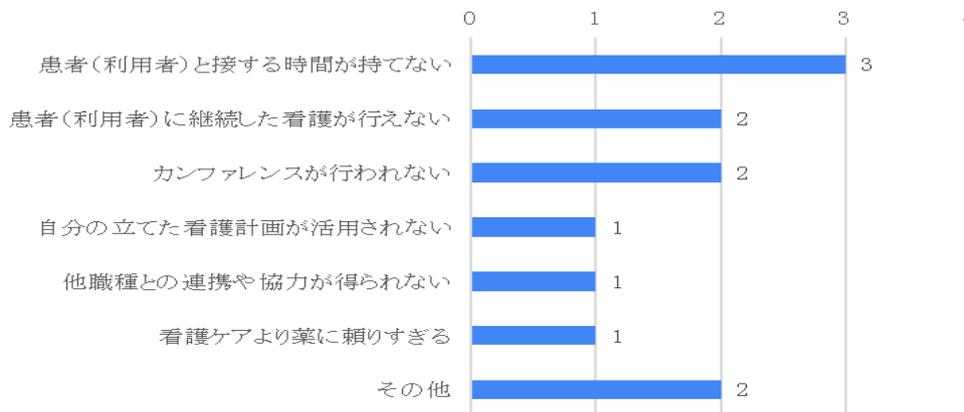


12.問10にて やりたい看護ができないと回答した内容(複数回答 n=5)

	人数
患者(利用者)と接する時間が持てない	3
患者(利用者)に継続した看護が行えない	2
カンファレンスが行われない	2
自分の立てた看護計画が活用されない	1
他職種との連携や協力が得られない	1
看護ケアより薬に頼りすぎる	1
その他	2

やりたい看護ができない理由については、患者(利用者)と接する時間が持てないが最も多く、次いで患者(利用者)に継続した看護ができない、カンファレンスが行われないとなった。

その他: 新しい考えが取り入れられない  
受け持ちをさせてくれなくなった



13.未就業の方の概ねの未就業期間(n=65 1名未回答)

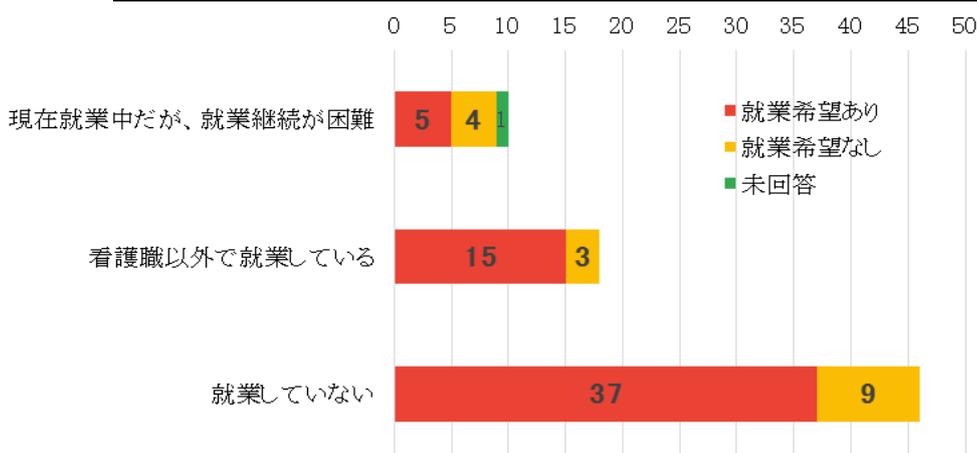
	回答者数	平均値	中央値	未回答者数
20代	9	1.8	1	3
30代	16	1.9	2	2
40代	15	4.1	2.5	2
50代	15	3.9	1.5	5
60代	10	1.3	1.25	2
合計	65	2.7	2	14

未就業期間については、平均2.7年で標準偏差4.1、中央値2年と比較的短期間の方が多く傾向にあった。期間が短くて1か月、最大16年であった。

14.再就職希望について(n=74)

	就業希望あり	就業希望なし	未回答者	合計
現在就業中だが、就業継続が困難	5	4	1	10
看護職以外で就業している	15	3	0	18
就業していない	37	9	0	46
合計	57	16	1	74

就業していない方の80.4%(37名)が就業希望があると回答。看護職以外で就業している方の83.3%(15名)が看護職としての就労を希望していた。現在就業中の方で就業継続が困難と感じている方については、50%(5名)が就業を希望していた。



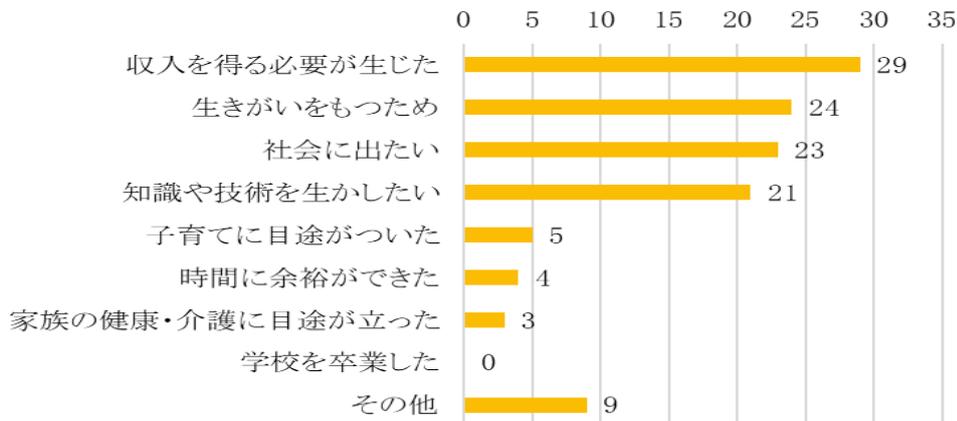
15.再就職を希望する理由(複数回答 n =57)

	人数	割合
収入を得る必要が生じた	29	50.9%
生きがいをもつため	24	42.1%
社会に出たい	23	40.4%
知識や技術を生かしたい	21	36.8%
子育てに目途がついた	5	8.8%
時間に余裕ができた	4	7.0%
家族の健康・介護に目途が立った	3	5.3%
学校を卒業した	0	0.0%
その他	9	15.8%

再就業を希望する理由については、「収入を得る必要が生じた」が最も多く29名(50.9%)であり、次いで「生きがいを持つため」が24名(42.1%)「社会に出たい」23名(40.4%)、「知識や技術を生かしたい」21名(36.8%)であった。

その他: 看護師として働きたい:2名

看護師として働きたいが、周りの環境や介護などにより難しいが、この経験を生かしたい  
 妊娠中だが、今後タイミングを見て復職したい  
 冬季のみ就業希望。家業で夏場は忙しいため  
 体調が改善したらすぐに復職したい  
 進歩する看護を学びたい  
 看護が好きだから  
 看護師を辞めたい

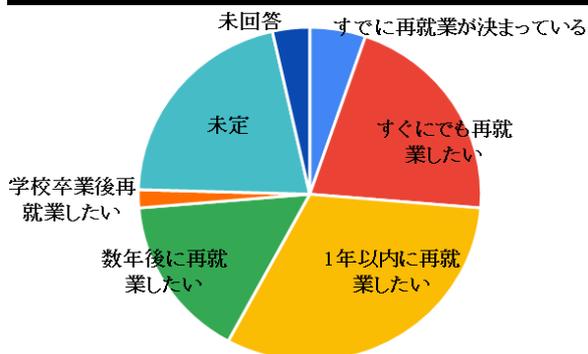


16.希望する再就業までの期間(n=57)

再就業までの期間	人数	割合
すでに再就業が決まっている	3	5.3%
すぐにでも再就業したい	12	21.1%
1年以内に再就業したい	18	31.6%
数年後に再就業したい	9	15.8%
学校卒業後再就業したい	1	1.8%
未定	12	21.1%
未回答	2	3.5%
合計	57	100.0%

希望する再就業までの期間は、1年以内が最も多く18名(31.6%)、次いですぐにでも再就業したい方と未定の方が12名(21.1%)、であった。

数年後に再就業したい:  
 1~3年 1名  
 2年 4名 ・ 2~4年 1名  
 6年 1名 ・ 未回答2名



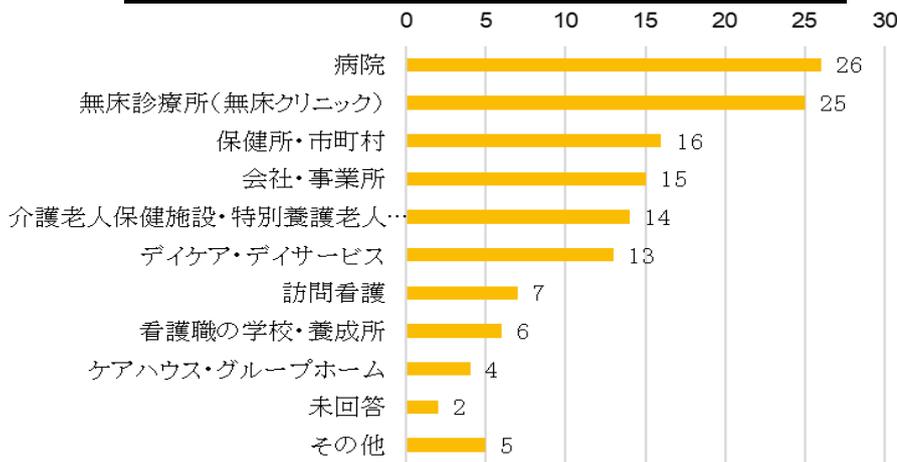
17. 就業を希望する就業先(複数回答 n=57)

希望する勤務先	人数	割合
病院	26	45.6%
無床診療所(無床クリニック)	25	43.9%
保健所・市町村	16	28.1%
会社・事業所	15	26.3%
介護老人保健施設・特別養護老人ホーム	14	24.6%
デイケア・デイサービス	13	22.8%
訪問看護	7	12.3%
看護職の学校・養成所	6	10.5%
ケアハウス・グループホーム	4	7.0%
未回答	2	3.5%
その他	5	8.8%

就業希望が最も多かったのは、病院で26名(45.6%) 次いで無床診療所が25名(43.9%)であった。保健所・市町村16名(28.1%)、介護老人保健施設・特別養護老人ホーム14名(24.6%)、デイケア・デイサービス13名(22.8%)であり、順位の変動はあるが希望の多いベスト5は昨年と変わりなかった。

その他:

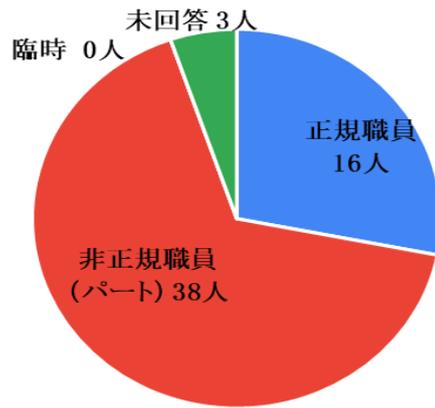
- ・看護職をあきらめようと思っている
- ・開業
- ・短期で3か月くらいで可能な職場
- ・腰への負担が少ないところ
- ・思いつかない



18. 希望する雇用形態(n=57)

	人数	割合
正規職員	16	28.1%
非正規職員(パート)	38	66.7%
臨時	0	0.0%
未回答	3	5.3%
合計	57	100.0%

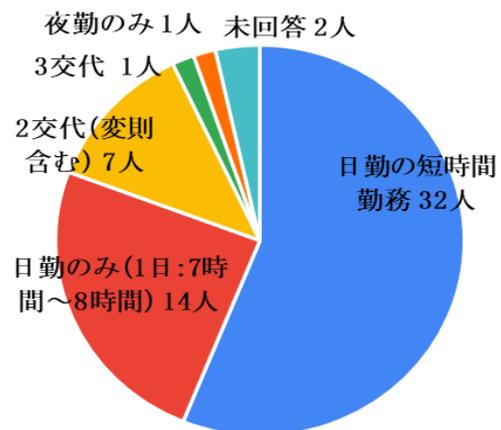
希望する雇用形態は、非正規職員が最も多く38名(66.7%)で、次いで正規職員16名(28.1%)となった。



19. 希望する勤務形態(n=57)

	人数	割合
日勤の短時間勤務	32	56.1%
日勤のみ(1日:7時間~8時間)	14	24.6%
2交代(変則含む)	7	12.3%
3交代	1	1.8%
夜勤のみ	1	1.8%
未回答	2	3.5%
合計	57	100.0%

希望する勤務形態は、日勤の短時間勤務が最も多く32名(56.1%)で、次いで日勤のみ(1日)14名(24.6%)と約80%が日勤帯での勤務を希望していた。



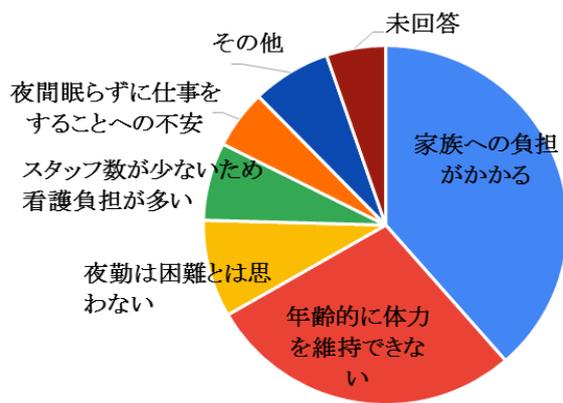
## 20.夜勤が困難な理由 (n=57)

	人数	割合
家族への負担がかかる	22	38.6%
年齢的に体力を維持できない	16	28.1%
夜勤は困難とは思わない	5	8.8%
スタッフ数が少ないため看護負担が多い	4	7.0%
夜間眠らずに仕事することへの不安	3	5.3%
スタッフ数が少なく急変への不安	0	0.0%
その他	4	7.0%
未回答	3	5.3%
合計	57	100.0%

その他

- ・子供が小学生であり一人親の為
- ・持病悪化の恐れ
- ・精神安定剤を飲んでいるため
- ・病気の悪化または可能性

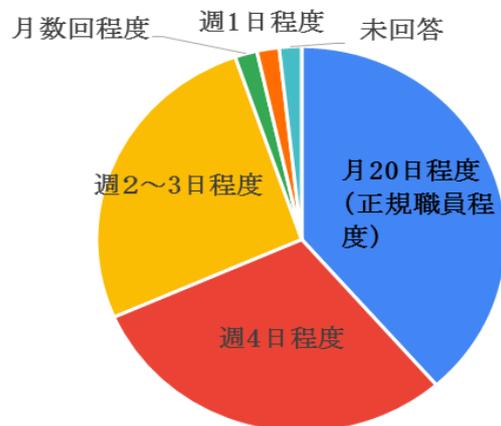
夜勤が困難な理由について、最も当てはまるもの1つの回答で多い理由は、家族へ負担がかかる22名(38.6%)、次いで年齢的に体力を維持できない16名(28.1%)であった。スタッフ数が少なく急変への不安はなかった。なお、夜勤は困難な理由とは思わないと回答したのは5名(8.8%)であった。



## 21.希望する就業頻度 (n=57)

	人数	割合
月20日程度(正規職員程度)	22	38.6%
週4日程度	17	29.8%
週2~3日程度	15	26.3%
月数回程度	1	1.8%
週1日程度	1	1.8%
未回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

希望する就業頻度については、月20日程度の正規職員程度が最も多く、22名(38.6%)で、次いで週4日程度17名(29.8%)、週2~3日程度15名(26.3%)であった。



## 22.再就業に際しての不安(複数回答 n=57)

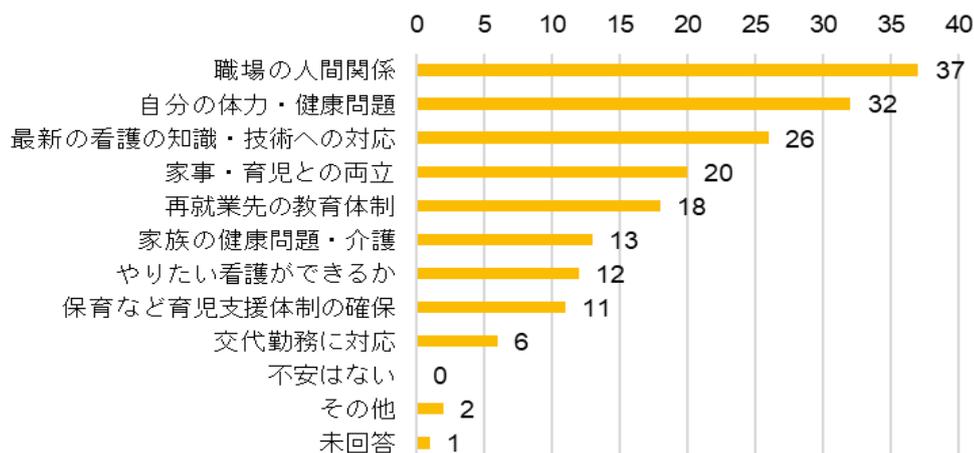
不安に思う内容	人数	割合
職場の人間関係	37	64.9%
自分の体力・健康問題	32	56.1%
最新の看護の知識・技術への対応	26	45.6%
家事・育児との両立	20	35.1%
再就業先の教育体制	18	31.6%
家族の健康問題・介護	13	22.8%
やりたい看護ができるか	12	21.1%
保育など育児支援体制の確保	11	19.3%
交代勤務に対応	6	10.5%
不安はない	0	0.0%
その他	2	3.5%
未回答	1	1.8%

その他

- ・就活がうまくいかない
- ・給料が下がる

再就業に際しての不安について最も多かったのは、職場の人間関係で37名(64.9%)、次いで自分の体力・健康問題32名(56.1%)、最新の看護の知識・技術への不安26名(45.6%)、家事と育児の両立20名(35.1%)、再就業先の教育体制18名(31.6%)となった。不安がないと回答した方はいなかった。グラフは次ページに記載

## 再就業に際しての不安



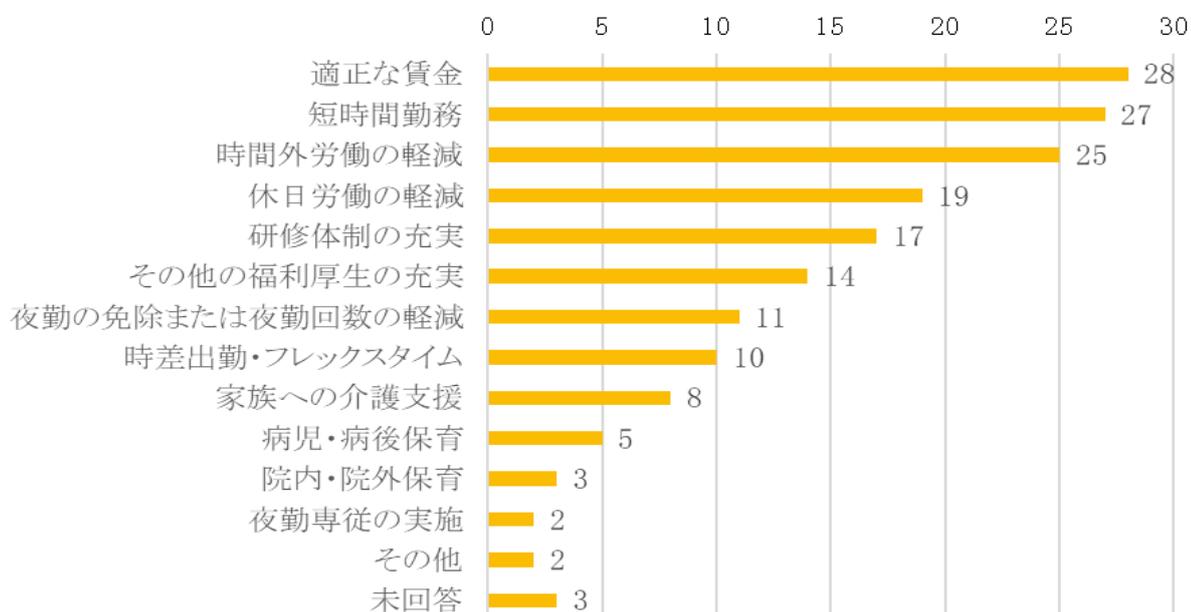
### 23.再就業する上で重視する支援(複数回答n=57)

支援体制の内容	人数	割合
適正な賃金	28	49.1%
短時間勤務	27	47.4%
時間外労働の軽減	25	43.9%
休日労働の軽減	19	33.3%
研修体制の充実	17	29.8%
その他の福利厚生 of 充実	14	24.6%
夜勤の免除または夜勤回数の軽減	11	19.3%
時差出勤・フレックスタイム	10	17.5%
家族への介護支援	8	14.0%
病児・病後保育	5	8.8%
院内・院外保育	3	5.3%
夜勤専従の実施	2	3.5%
その他	2	3.5%
未回答	3	5.3%

その他

- ・特になし
- ・教育体制

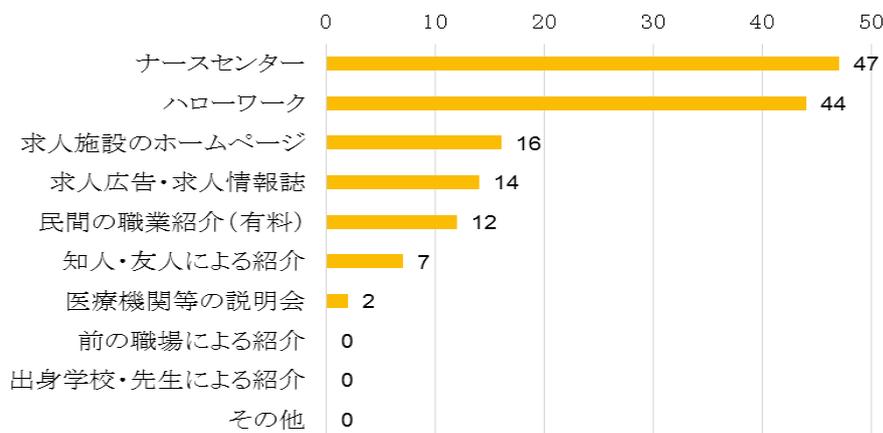
再就業する上で重視する支援体制については、適正な賃金が最も多く28名(49.1%)、次いで短時間勤務27名(47.4%)、時間外労働の軽減25名(43.9%)、休日労働の軽減19名(33.3%)、研修体制の充実17名(29.8%)、その他の福利厚生 of 充実14名(24.6%)であった。賃金・働く時間・学び続ける体制の希望がほとんどを占めた。



24. 就業先を探す際に利用する手段(3つまで選択 n=57)

利用する手段	人数	割合
ナースセンター	47	82.5%
ハローワーク	44	77.2%
求人施設のホームページ	16	28.1%
求人広告・求人情報誌	14	24.6%
民間の職業紹介(有料)	12	21.1%
知人・友人による紹介	7	12.3%
医療機関等の説明会	2	3.5%
前の職場による紹介	0	0.0%
出身学校・先生による紹介	0	0.0%
その他	0	0.0%

就業先を探す際に利用している手段については、ナースセンターが最も多く47名(82.5%)で次いでハローワーク44名(77.2%)でこの2つの手段が多数を占めた。求人施設のホームページは、16名(28.1%)、求人広告・求人雑誌が14名(24.6%)であった。



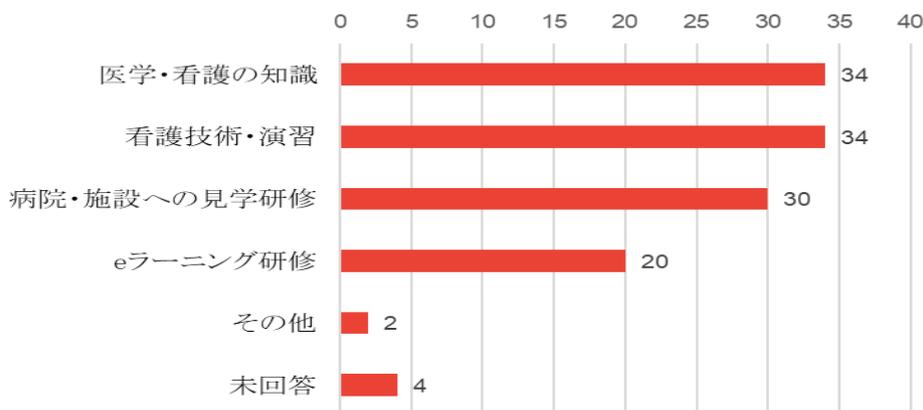
25. 再就業にあたり受講したい研修について(複数回答 n=57)

	人数	割合
医学・看護の知識	34	59.6%
看護技術・演習	34	59.6%
病院・施設への見学研修	30	52.6%
eラーニング研修	20	35.1%
その他	2	3.5%
未回答	4	7.0%

再就業にあたり受講したい研修については、医学・看護の知識と看護技術・演習が最も多く34名(59.6%)で、次いで病院・施設への見学研修30名(52.69%)、eラーニング研修20名(35.1%)であった。

その他

- ・なし
- ・やってない



26. 就職活動をしているが就業できない理由(複数回答 n=57)

	人数	割合
希望する業務内容・職場の求人がない	19	33.3%
自分の技術や能力が求人要件に合うか不安	19	33.3%
勤務時間・休日が希望と合わない	18	31.6%
自分の健康状態に不安	15	26.3%
賃金・給与が希望と合わない	8	14.0%
子供を預けるサービスが見つからない	6	10.5%
求人と自分の年齢が合わない	5	8.8%
妊活中のため	4	7.0%
その他	7	12.3%
未回答	6	10.5%

就職活動をしているが、就業できない理由については、希望する業務内容・職場の求人がないと自分の技術や能力が求人要件に合うか不安が19名(33.3%)と最も多く、次いで勤務時間・休日が希望と合わない18名(31.6%)、自分の健康状態に不安15名(26.3%)であった。

その他

- ・出産
- ・人間関係がわからない
- ・子どもを2歳から預けたいため
- ・相手先が拒否する
- ・現在は探していない
- ・介護中
- ・ブランクが長い

